

2018 年度事業報告書

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ふまねっと

1、事業の成果

1) 健康づくり支援事業

健康づくり支援事業では、全国各地のふまねっとサポーターによるボランティア活動を促進し、地域に根ざした住民主体の健康づくり活動を定着させることを目的に、①健康教室の実施、②支部活動支援、③研修会の実施と教室の訪問支援、④機関紙の発行、⑤活動支援情報の配信を行った。

①健康教室については、(A) ふまねっとサポーターが自主的に行う健康教室、(B) 当法人が釧路市で開催する健康教室と、札幌市より助成を受けて開催した健康教室、(C) 市町村から委託を受けて行う介護予防教室を実施した。(A) について、全国でボランティア活動に取り組むふまねっとサポーターは 2019 年 3 月末日現在 5,240 名に達し、全国各地で行われる健康教室には、年間延べ 42 万名の不特定多数の地域住民が参加していると推計されている。(B) について、当法人は釧路市で運営してきたふまねっとハウス浦見を 2018 年 9 月で閉所し、開催していた健康教室を 10 月以降は他の貸会場 2 ヶ所へ移動して実施した。移動前後を合計して延べ 993 名のふまねっとサポーターが 326 回の健康教室を行い、延べ 1,664 名の地域住民が参加した。また、釧路市ではこの他、困窮者に健康教室へのボランティア参加の機会を提供し、社会復帰を支援する事業と、認知症患者を地域で支えるための認知症カフェを開催した。札幌市では、札幌市「地域課題解決ネットワーク構築事業」助成を受け、法人事務所で地元町内会と連携して健康教室を 10 回開催し、延べ 157 名の地域住民が参加した。

(C) について、2018 年度は釧路市、鶴居村、東京都東村山市より委託を受け、介護予防教室を合計 168 回行い、1,386 名の地域住民が参加した。担当したサポーター、インストラクターは延べ 663 名だった。

②支部活動支援では、全 9 支部でふまねっとサポーターの健康教室の指導技術の維持向上や活躍の場の拡大及び協力体制の構築を目的とした活動支援を実施した。

③研修会の実施と教室の訪問支援については法人主催または各団体からの依頼に応じて全国で 44 回実施し、延べ 1,100 名以上のふまねっと指導者や希望者が参加し、指導技術向上と情報交換を図った。

④機関紙については 3 回発行し、会員の活動報告や、インタビュー記事、ふまねっと運動の新しいステップ、指導のアドバイス等の情報を発信した。

⑤活動支援情報の配信については、ホームページ、ブログ、Facebook、YouTube で各地のサポーターの活動の様子などを発信した。

2) 地域福祉人材養成事業

地域福祉人材養成事業では、①健康づくり指導者の養成、②住民主体の健康づくり活動の啓発、③東日本大震災被災地支援、④北海道胆振東部地震被災地支援を行った。

①健康づくり指導者の養成では、2018 年度は全国（北海道、岩手県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、東京都、千葉県、長野県、静岡県、愛知県、大阪府、和歌山県、兵庫県、愛媛県、佐賀県）でふまねっとサポーター養成講習会を 59 回、ふまねっとインストラクター 3 級養成講習会を 39 回実施し、ふまねっとサポーターを 829 名、ふまねっとインストラクターを 466 名養成した。

②住民主体の健康づくり活動の啓発では、市町村や医療福祉関係機関、地域団体から依頼を受け、講演会や体験会を 35 回実施し、1,200 名以上が参加した。

③東日本大震災被災地支援では、札幌市さぽーとほっと基金より助成を受け、宮城県石巻市、東松島市、岩手県大槌町、釜石市で体験講演会やサポーター養成講習会、研修会や交流会等の活動を実施した。

④北海道胆振東部地震被災地支援では、いぶり基金より助成を受け、厚真町、安平町、むかわ町でふまねっと健康教室を実施した。

3) 研究開発普及促進事業

研究開発普及促進事業では、①健康づくり用具の製造、②健康づくり用具、教材の販売、③運動プログラムの研究開発を行った。

①健康づくり用具の製造では、ゴム製ふまねっとの製造を生活保護受給者の支援団体に依頼することで、生活保護受給者の社会参加と自立支援への貢献を図っている。

②健康づくり用具、教材の販売については昨年度から引き続き実施した。また、ふまねつと運動の学習教材コンテンツのインターネット配信及び講習受講申込みのオンライン化を行うため、経済産業省のIT補助金を活用してウェブサイトの構築を行った。

③運動プログラムの研究開発については、ふまねつと運動教室の実施前後の歩行機能やうつ、主観的健康観等のデータ収集を行い、改善効果の検証に取り組んだ。また、認知症患者を対象としたふまねつと運動の指導方法や効果に関する研究実施の検討を行った。さらに、ふまねつと運動を国際的に普及するための仕組みの検討及び特許及び商標取得の手続きを始め、ふまねつと運動の正規利用の普及及び管理に取り組んだ。

計画していた「健康教室システムの開発」については、2018年度での実施は見送った。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事業

定款の事業名 (定款上の 事業番号)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額
健康づくり 支援事業 (1, 2, 3)	①健康教室の実施 (札幌市地域課題解決 ネットワーク構築事業含む)	2018. 4. 1 ～ 2019. 3. 31	全国	5,200名	一般地域住民延べ42万名	12,371,158円
	②支部活動支援		網走市、余市町 旭川市、石狩市 札幌市、士幌町 函館市、帯広市 由仁町	63名	支部会員1,495名、 各市町村住民	
	③研修会の実施、教室の訪問支援		全国	62名	正会員、一般地域住民1,100名	
	④機関紙の発行		全国	21名	正会員7,714名、希望者	
	⑤活動支援情報の配信		全国	7名	全国の医療福祉施設職員と 利用者、全国の一般地域住民	
地域福祉 人材養成事業 (6, 7)	①健康づくり指導者の養成	2018. 4. 1 ～ 2019. 3. 31	全国	111名	一般地域住民、関係機関職員、 医療福祉施設職員1,295名	21,122,507円
	②住民主体の健康づくり啓発		全国	47名	一般地域住民、関係機関職員、 医療福祉施設職員1,200名	
	③東日本大震災被災地支援 (札幌市さぼーとほっと基金 助成事業)	2018. 10. 1 ～ 2019. 3. 31	宮城県、岩手県	9名	被災地の住民	745,919円
	④北海道胆振東部地震被災地支援 (いぶり基金助成事業)		厚真町、安平町 むかわ町	6名	被災地の住民	101,760円
研究開発 普及促進事業 (8)	①健康づくり用具の製造	2018. 4. 1 ～ 2019. 3. 31	釧路市、韓国	7名	生活保護受給者等	13,148,856円
	②健康づくり用具、教材の販売		札幌市、釧路市	7名	全国の医療福祉施設職員 と利用者、全国の一般地域住民	
	③運動プログラムの研究開発		札幌市、釧路市	7名		

(2) その他の事業

なし